

令和3年度

# ふるさとづくり大賞事例集





## 目的

- ふるさとづくり大賞は、全国各地で、それぞれのところをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的とするものです。
- 本書が、地域でふるさとづくりに取り組む方々にとって、課題解決に向けたヒントとなり、またふるさとづくりに興味を持たれた方々にとって、他の団体・個人の活動内容を知るきっかけとなれば幸いです。

## 構成

- 事例の紹介は、見開き2ページの構成としています。
  - 1ページ目  
事例の概要について掲載しています。
  - 2ページ目  
取組を始めたきっかけから、取組が発展していく過程、今後の展望までをいくつかのステップに分解し、一連の流れとして整理しています。

## 凡例

黄色

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題

その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

緑

行政や外部からの支援

行政や外部からの支援などについて記載。

取組を始めた「きっかけ」及び取組の「今後の展望」について、それぞれ時系列順に最初と最後に記載。

## 目次



### 最優秀賞（内閣総理大臣賞）

徳島県上勝町 ..... 3



### 優秀賞（総務大臣表彰）

栴田 隆一郎【富山県富山市】 ..... 5

株式会社あわえ【徳島県美波町】 ..... 7



### 奨励賞（総務大臣表彰）

樋口 純子【山梨県身延町】 ..... 9



### 団体表彰（総務大臣表彰）

株式会社キャッセン大船渡【岩手県大船渡市】 ..... 11

認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク【岩手県遠野市】 ..... 13

ふるさとむら宝谷運営管理組合【山形県鶴岡市】 ..... 15

特定非営利活動法人人間市文化創造ネットワーク【埼玉県人間市】 ..... 17

幸町1丁目コミュニティ委員会【千葉県千葉市】 ..... 19

一般社団法人竹田文化共栄会【福井県坂井市】 ..... 21

岐阜県地歌舞伎保存振興協議会【岐阜県】 ..... 23

五個荘地区まちづくり協議会【滋賀県東近江市】 ..... 25

特定非営利活動法人むきばんだ応援団【鳥取県米子市】 ..... 27

特定非営利活動法人江の川鐵道【島根県邑南町】 ..... 29

エーゼロ株式会社【岡山県西粟倉村】 ..... 31

クシノテラス【広島県福山市】 ..... 33

地域協同組合 無茶々園【愛媛県西予市】 ..... 35

株式会社山のくじら舎【高知県安芸市】 ..... 37

一般財団法人こゆ地域づくり推進機構【宮崎県新富町】 ..... 39



### 地方自治体表彰（総務大臣表彰）

山形県上山市・上市市温泉クアオルト協議会 ..... 41

鳥取県日南町 ..... 43



### 個人表彰（総務大臣表彰）

大和田 順子【宮城県大崎市】 ..... 45

前川 穎司【高知県香美市】 ..... 47





最優秀賞

持続可能なまちづくり

～ゼロ・ウェイトタウン上勝の取組～

かみかつちょう

徳島県上勝町

徳島県上勝町



## 取組の概要

上勝町ではかつてごみを野焼き処分しており、その後焼却炉を設置したが、法改正により閉鎖せざるを得なくなった。経済と環境にローコストで持続可能なごみ処理を模索した結果、未来の子どもたちにきれいな空気やおいしい水を残していくため、住民主体の多分別資源化による環境負荷の軽減や処理費の削減を図った。結果リサイクル率は80%を超え、環境先進地として世界中から注目を集めることになりゼロ・ウェイトをコンセプトとした起業や移住者の誘致に繋がっている。

## 取組のプロセス

1997年

きっかけ

県からごみの不適正処理をやめるよう指導を受け、経済負担や環境負荷の削減を図り、未来の子どもたちにきれいな空気やおいしい水を残すために分別回収を開始

1997年～

「ごみステーション開設」

・容器包装リサイクル法施行に伴い、9分別を開始  
・2001年焼却炉閉鎖と共に35分別（翌年から34分別）



2003年～

「ゼロ・ウェイト宣言」

・廃棄物の適正処理による環境負荷の軽減や、未来の子どもたちへきれいな空気とおいしい水を残すために、日本の自治体で初めてゼロ・ウェイト宣言を発表



2006年～

リユースの取り組み

・「不要になったけど、まだまだ使える物」を持ち込み、誰でも持ち帰ることができる「くるくるショップ」開設  
・上勝のおばあちゃんたちが不要になった布や綿などからリメイク商品を作り販売する「くるくる工房」を2007年開設  
・基金を利用し、リユース食器を購入し無料で貸し出す「くるくる食器」を2008年開始



2013年～

雑紙ポイントキャンペーン開始

・焼却ごみによく混ざっていた雑紙を「救出」し、資源回収により生じる収益を住民に還元  
・対象のごみを集めるとポイントがたまり、環境に配慮した商品と交換するサービス（後に「ちりつもポイントサービス」に改名）



2017年～

さらなる取り組み

・「ゼロ・ウェイト認証」及び「町内小売店での量り売り」開始  
・布おむつの支給  
・ゼロ・ウェイトブランドを活用した事業の実施



2020年～

新「ゼロ・ウェイト宣言」

・そもそもごみを生み出さない仕組みづくりや環境教育・人材育成を重点目標とする。

今後の展望

・環境と経済が学べる人材育成プログラムづくり  
・住民の分別に対する負担意識の軽減  
・生産者や大学、研究機関との連携によるごみにならないものづくりの実証実験  
・上勝町ゼロ・ウェイトセンターを活かした国内外への情報発信と仲間づくり

## DATA

事例名：『持続可能なまちづくり～ゼロ・ウェイトタウン上勝の取組～』

徳島県上勝町

所在地：徳島県勝浦郡上勝町大字福原字下横峯3番地1

連絡先：TEL 0885-46-0111

FAX 0885-46-0323

E-mail kikaku@kamikatsu.i-tokushima.jp

ホームページ：https://zwtk.jp/







富山市岩瀬地区の歴史的景観を活かした  
美しい街並み形成と街づくり

ますだ りゅういちろう  
**柘田 隆一郎**

富山県富山市



**取組の概要**

江戸初期から日本海を行き来する北前船で栄えた港町である富山市岩瀬地区の美しい街並みを守ろうと、取り壊される予定だった岩瀬大町・新川町通りに面した家屋を購入・修復再生を行ってきた。例えば家屋から作家（ガラス、陶芸、木彫刻等）の拠点をつくり、土蔵から酒商やレストランを誕生させるなど、20年以上街づくりに取り組んできた。その過程で、「岩瀬まちづくり会社」を設立し、今日に至るまで、当該地区の美しい街並み形成と街づくりに貢献している。

**取組のプロセス**



画像提供：富山市観光協会 他

**DATA**

事業名：『富山市岩瀬地区の歴史的景観を活かした美しい街並み形成と街づくり』  
柘田 隆一郎







日本の地方をもっと元気に  
地方の力で日本を元気に

# 株式会社あわえ

徳島県美波町

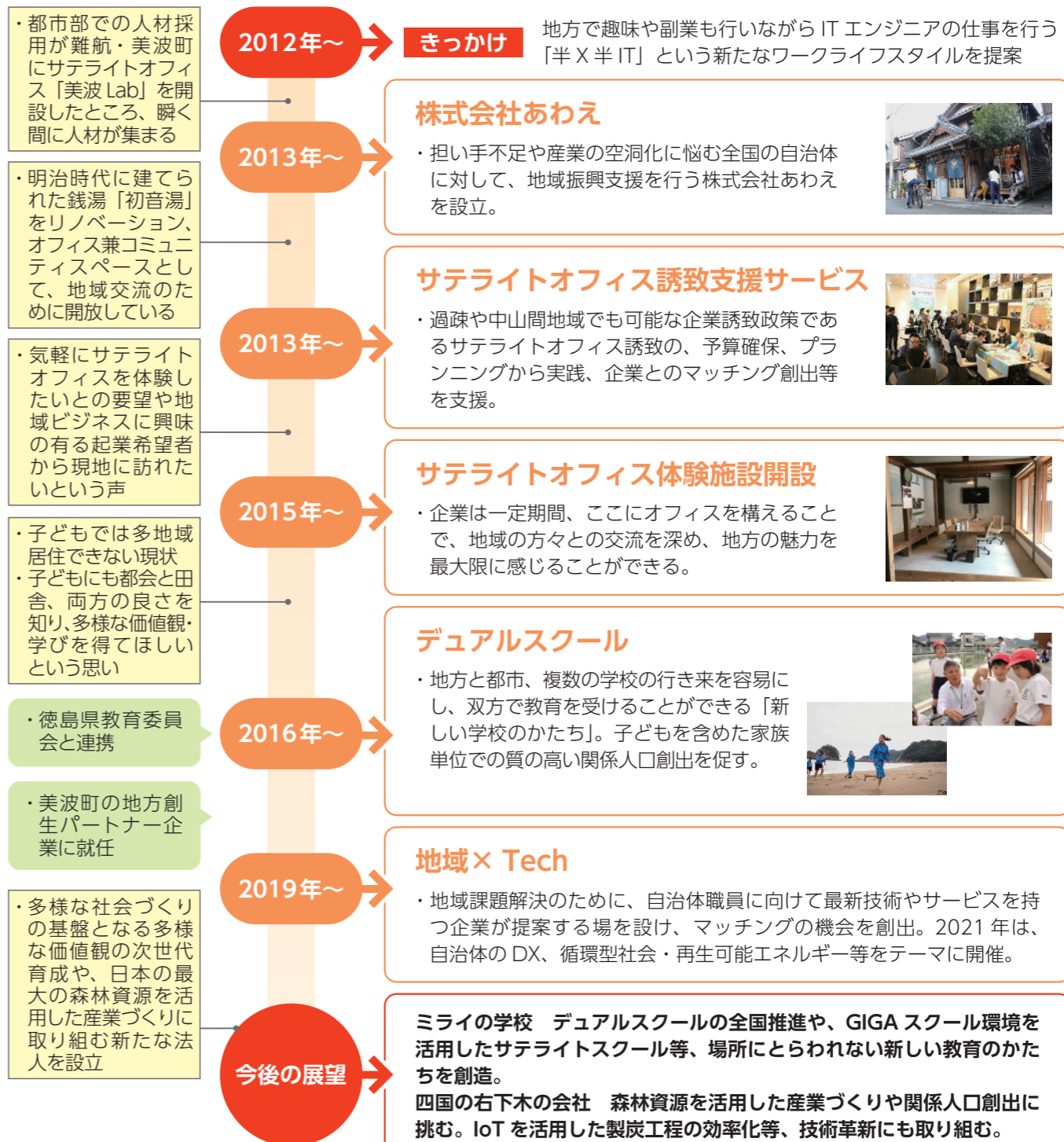


古銭湯を改装した本社オフィスの開所式の様子

## 取組の概要

株式会社あわえは、吉田代表が別途経営するIT企業の美波町進出過程で目当たりにした、人口減少社会の課題解決を目指して設立された。少子高齢化や人口流出、産業構造の変化等に起因する地域課題に対し、サテライトオフィスの誘致支援や児童・生徒の多地域就学を可能にする「デュアルスクール」制度の普及拡大に徳島県や美波町と協働で取り組む。さらに、同様の地域課題に直面する300に迫る全国の自治体に支援サービスを展開している。

## 取組のプロセス



## DATA

事例名：『日本の地方をもっと元気に 地方の力で日本を元気に』  
株式会社あわえ  
所在地：徳島県海部郡美波町日和佐浦 114  
連絡先：TEL 0884-70-5831  
FAX 0884-70-5832  
ホームページ：https://awae.co.jp/







歴史・文化を活用した観光による地域活性化事業  
“寺町活性化～自我寺参プロジェクト～”

ひぐち じゅんこ  
**樋口 純子**

山梨県身延町



### 取組の概要

人口減少により、年々寂しさを増す身延山地域の活性化を目指し、お客様ファーストを掲げ、お客様の声に耳を傾け、「おてらんち」や「桜寺栖」、一棟貸宿泊施設「迎賓館えびす屋」といった顧客ニーズにあった事業を展開し、移住者を受け入れてきた。

地域の歴史・文化・自然を活用した様々な事業展開による賑わいの創出により、インバウンド客は2015年からの4年間で204倍に増加するなど、地域活性化に寄与し、更なる発展に努めている。

### 取組のプロセス



### DATA

事例名：『歴史・文化を活用した観光による地域活性化事業  
“寺町活性化～自我寺参(じがじさん)プロジェクト～”  
樋口 純子  
所在地：山梨県南巨摩郡身延町身延 3510 覺林坊  
連絡先：TEL 0556-62-0014  
FAX 0556-62-0045  
E-mail info@kakurinbo.jp  
ホームページ：https://kakurinbo.jp





岩手県大船渡市

キャッセン大船渡の  
拓き、広げる、大船渡のまちづくり

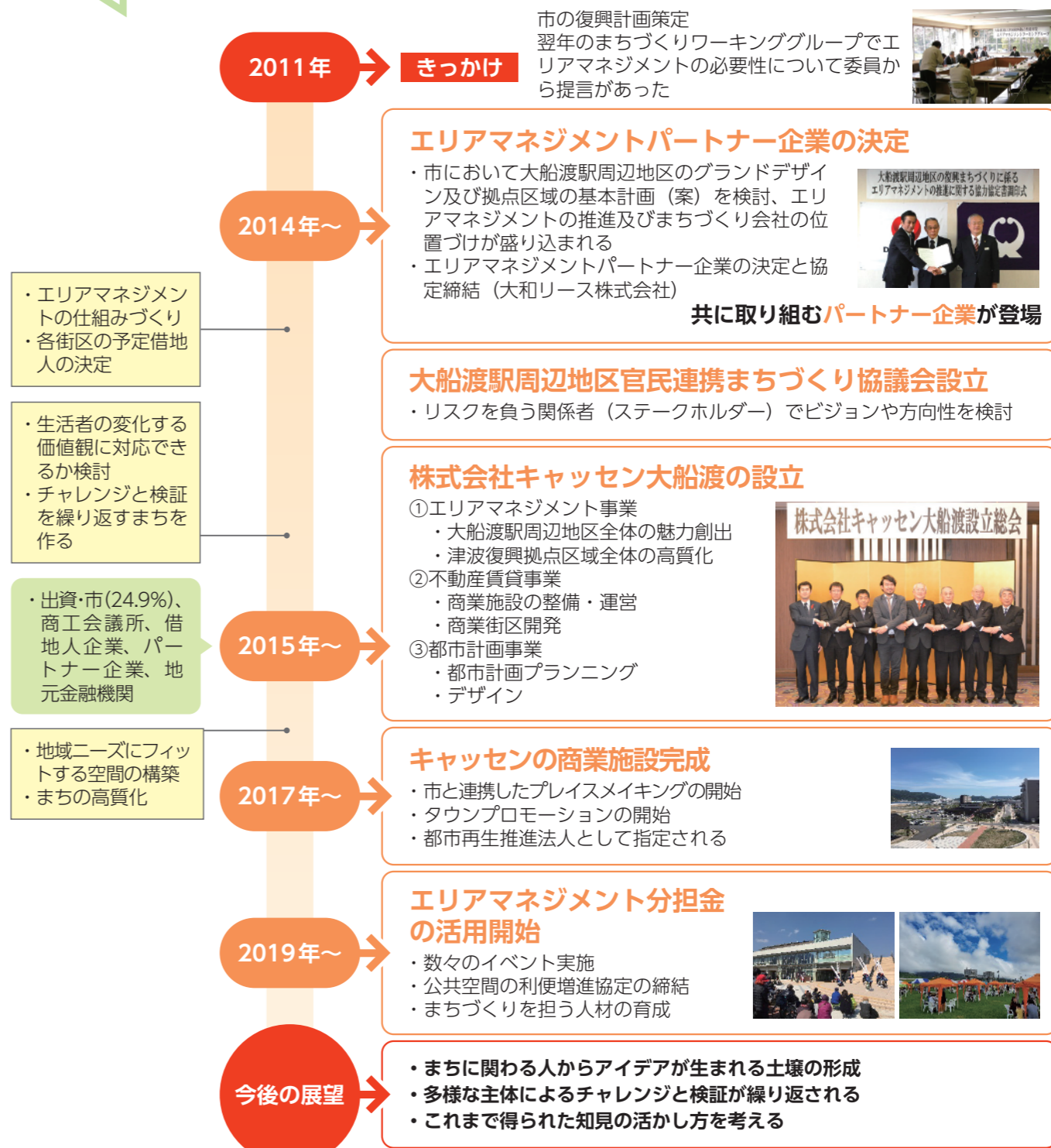
おおふなと  
株式会社キャッセン大船渡



取組の概要

東日本大震災で被災した大船渡駅周辺地区に、中心市街地の機能を再生するために発足した大船渡駅周辺地区官民連携まちづくり協議会は、エリアマネジメントの手法によりまちづくりを進めること及びその推進母体となるまちづくり会社を設立することを決定し、官民の共同出資によりまちづくり会社「株式会社キャッセン大船渡」を設立。同社は、大船渡駅周辺のまちの文化を100年後まで継承することを事業方針とし、地理的に分断された居住区と商店街を繋ぐため、まちのステークホルダーとの交流やイベントを重視した活動を展開。

取組のプロセス



- ・エリアマネジメントの仕組みづくり  
・各街区の予定借地人の決定
- ・生活者の変化する価値観に対応できるか検討  
・チャレンジと検証を繰り返すまちを作る
- ・出資・市(24.9%)、商工会議所、借地人企業、パートナー企業、地元金融機関
- ・地域ニーズにフィットする空間の構築  
・まちの高質化

DATA

事例名：『拓き、広げる、大船渡のまちづくり』  
株式会社キャッセン大船渡  
所在地：岩手県大船渡市大船渡町字野々田 12-33  
連絡先：TEL・FAX 0192-22-7910  
E-mail kyassen@chic.ocn.ne.jp  
ホームページ：https://kyassen.co.jp/





ふるさとづくり大賞 一団体表彰

岩手県遠野市

認定 NPO 法人遠野山・里・暮らしネットワーク  
による「遠野旅の産地直売所」プロジェクト

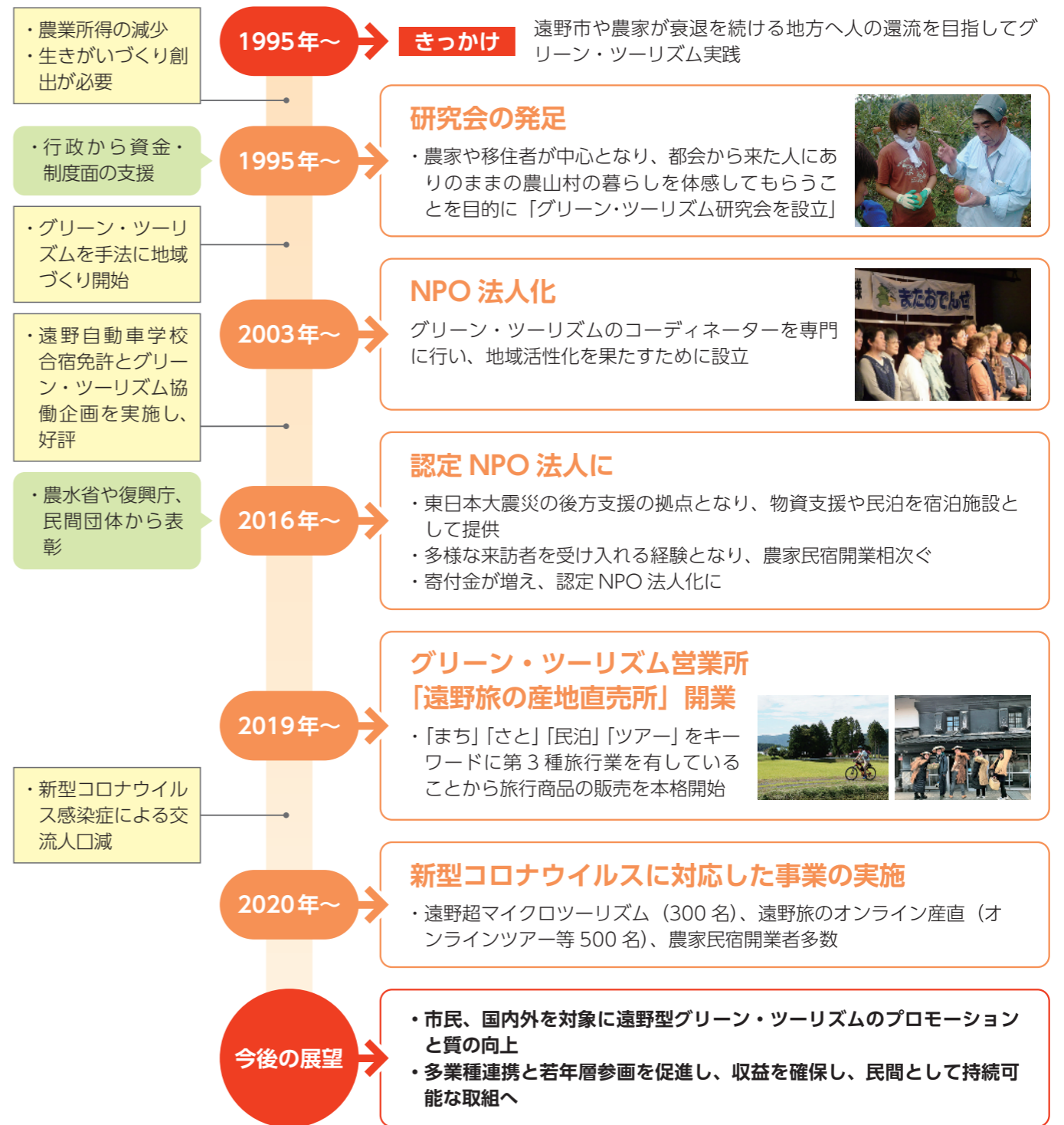
とおのやま さと く  
認定 NPO 法人遠野山・里・暮らしネットワーク



取組の概要

グリーン・ツーリズムにより遠野を中心とした社会全体の利益の増進に寄与することを目的に、多様な事業者と連携した地域住民が主役となる交流事業を実施。2019年には農山村の暮らし等を体感できることを旅の資源（まち、さと、民泊、ツアーがキーワード）とした遠野型グリーン・ツーリズムメニューの販売店舗「遠野旅の産地直売所」（旅行業第3種）を開業。

取組のプロセス



DATA

事例名：「遠野旅の産地直売所」プロジェクト  
認定 NPO 法人 遠野山・里・暮らしネットワーク  
所在地：岩手県遠野市遠野町 28-5  
連絡先：TEL 0198-62-0601  
FAX 0198-62-0602  
E-mail tabisan@tono-yamasatonet.com  
ホームページ：http://www.tonotv.com/members/yamasatonet/  
遠野旅の産地直売所 WEB https://tono-yamasatonet.com/tabisite/





山形県鶴岡市

ふるさとむら宝谷運営管理組合による  
「そば」を核とした地域おこし活動

ほうや  
ふるさとむら宝谷運営管理組合



取組の概要

稲作の減反政策が進む中、宝谷地区では稲の転作作物として「そば」を栽培。しかし、立地の不便さから地区農業に限界を感じた農家が出稼ぎに出たり、希望を見い出せない農家の離農離村が相次いだ。その状況を目の当たりにした当時の生産組合長が、何とかそばで村おこしをできないものかと地区内で協議をはじめ、以降、地区全体でそばを核とした地域づくりを継続している。

取組のプロセス



DATA

事例名：「「そば」を核とした地域おこし活動」  
ふるさとむら宝谷運営管理組合  
所在地：山形県鶴岡市宝谷字舞台 170 番地  
連絡先：TEL 0235-57-4415  
FAX 0235-57-4415  
E-mail furusatomura.houya@gmail.com  
ホームページ：「ふるさとむら宝谷」で検索





ふるさとづくり大賞 一団体表彰

特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワークによる  
「地域文化の発信基地づくり」

いるましぶんかそうぞう  
特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワーク

埼玉県入間市



取組の概要

平成13年、古く織物の町であった入間市にある旧県繊維工業試験場の施設を活用し、市民参加により、文化芸術で地域の活性化を図る取り組みが始まった。平成18年に、市民スタッフにより「NPO法人入間市文化創造ネットワーク」が組織され、「文化芸術で歓びと希望を感じるまちづくり」の基本理念のもと、アート、音楽、演劇、古典芸能などの公演、ワークショップを行い、コミュニティづくり、子どもたちへの文化芸術体験活動などに加え、旧繊維試験場という特長も生かし織物体験などを通して、地場産業紹介にも取り組んでいる。

取組のプロセス

1998年～ **きっかけ** 入間市が県の繊維工業試験場をリノベーションして文化施設を設置する構想が浮上

2001年～ **市民による運営を目指した入間市文化創造アトリエ・アミーゴがオープン**  
 ・当初市直営で施設管理は市職員で、文化事業の企画は市民が中心となり運営された(市民ディレクター制度)  
 ・市民スタッフを募り音楽、演劇、アート、古典芸能などの事業を実施

2007年～ **公設市民運営の実現**  
 ・市民ディレクターを中心に81人の市民スタッフによってNPO法人入間市文化創造ネットワークを設立  
 ・施設の指定管理を受託し、市民文化の創造と情報発信の場として文化芸術を通じたまちづくりを推進

2010年～ **地域社会と関わりを持つ事業を推進**  
 ・花火大会に合わせ近隣自治会と夏フェスタ開催  
 ・秋まつりを開催、クラフト作家の展示、販売、ワークショップなど地域住民が5000人来場  
 ・市内小中学校で古典芸能鑑賞会を開催

2018年～ **地域のシンボルづくり、他団体との協働**  
 ・企業との連携…西武鉄道ウォーキング 織物組合…組合員福利厚生事業 入間ガス…自社地域サービス事業  
 ・行政等との連携…市制周年事業 市観光協会…駅前 Xmas イベント 市博物館…コンサート、演劇上演 市内自治会…敬老会事業など  
 ・日曜マーケットの開催 野菜朝市、独楽づくり、地域物産の販売など  
 ・織物文化フォーラムの開催 地域の織物文化と歴史を紹介

2020年～ **コロナに対応**  
 ・SNSを活用した事業  
 \* 疫病退散の妖怪アマビエのイラストをSNSで募集  
 \* アート作家展示でアーティストトークを収録し、YouTubeで放映  
 ・近隣・家族・安心をテーマに  
 \* 施設内スタンプラリーを子供向けに用意するなど家族の憩いの場を提供

今後の展望 **文化芸術で住み続けたいと思えるまちづくり**  
 \* 市民ディレクターによる質の高い文化芸術とニーズをとらえた企画力の向上  
 \* リーダーの育成を進める  
 ・アフターコロナを意識し身近で楽しめるコミュニティの場づくり  
 \* 参加型、体験型の事業で高齢者から子供まで生きがいと喜びを感じる場の創造

DATA

事例名：『地域文化の発信基地づくり』  
 特定非営利活動法人入間市文化創造ネットワーク  
 所在地：埼玉県入間市仏子 766-1  
 連絡先：TEL 04-2931-3500  
 FAX 04-2931-3700  
 E-mail info@i-amigo.net  
 ホームページ：https://i-amigo.net





ふるさとづくり大賞 一団体表彰

コミュニティ委員会による、安心、安全で  
活力と魅力のある町づくり

千葉県千葉市

さいわいちょう

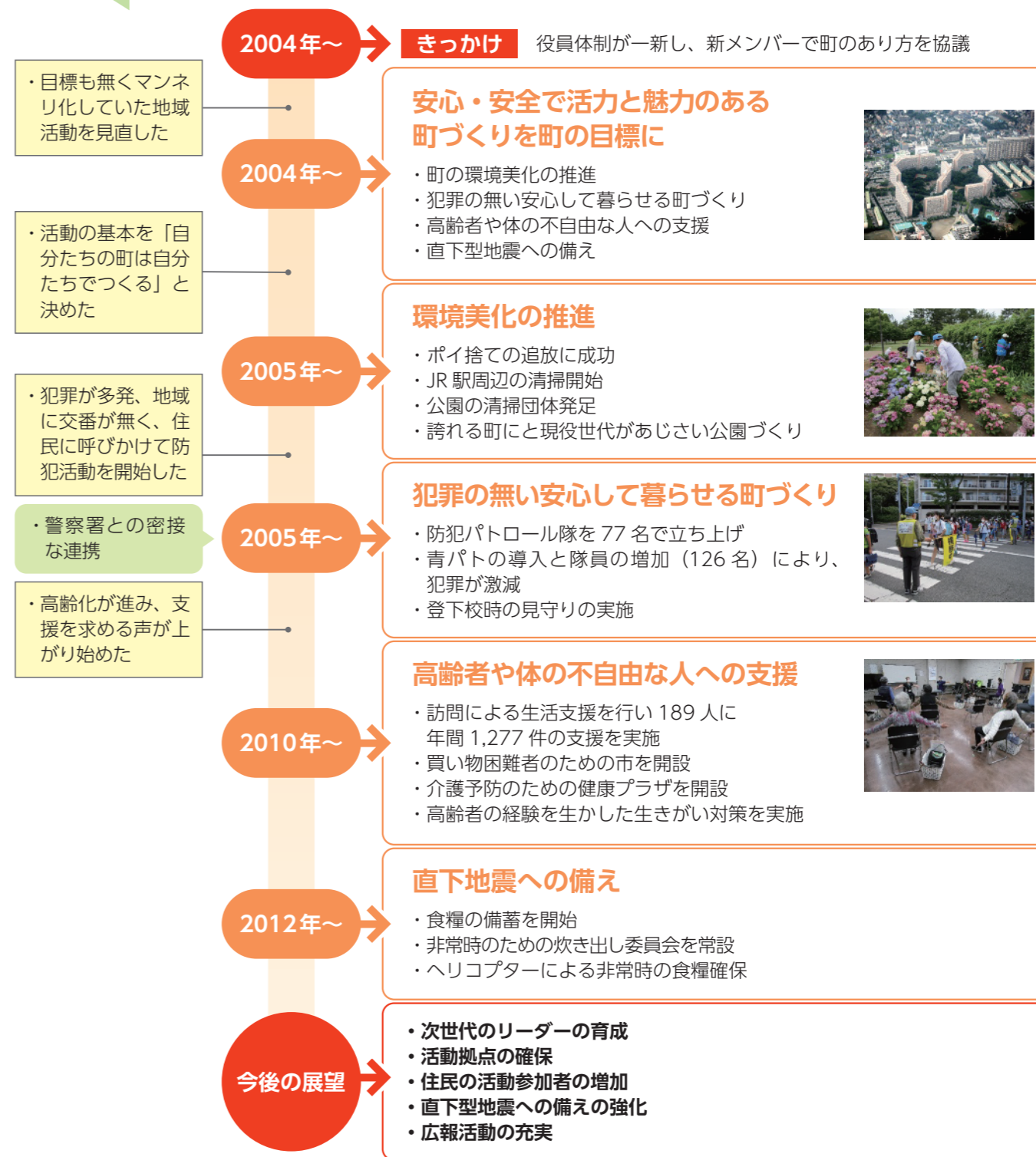
# 幸町1丁目コミュニティ委員会



## 取組の概要

幸町1丁目に存在する18の自治会のうち、半数が高齢化率45パーセント以上となっている。そうした中、幸町1丁目コミュニティ委員会は「自分たちの町は自分たちでつくる」を活動の基本に「安心・安全」、「活力と魅力のある町」をめざし多くの活動団体を立ち上げて町づくりを行ってきた。防犯、防災、高齢化対策などその数は14に上る。コロナ禍においても、介護予防のための「幸町1丁目健康プラザ」の立上げや積極的な防災対策など、精力的に町づくりに取り組んでいる。

## 取組のプロセス



## DATA

事例名：『安心、安全で活力と魅力のある町づくり』  
幸町1丁目コミュニティ委員会  
所在地：千葉県千葉市美浜区幸町1-8-2-1208  
連絡先：TEL 043-242-7731  
FAX 043-242-7731 (蟹江)  
E-mail masanarikanie.2020@gmail.com







ふるさとづくり大賞 一団体表彰

農山村の未来を創る  
地域協働のまちづくり

福井県坂井市

たけだぶんかきょうえいかい  
**一般社団法人竹田文化共栄会**

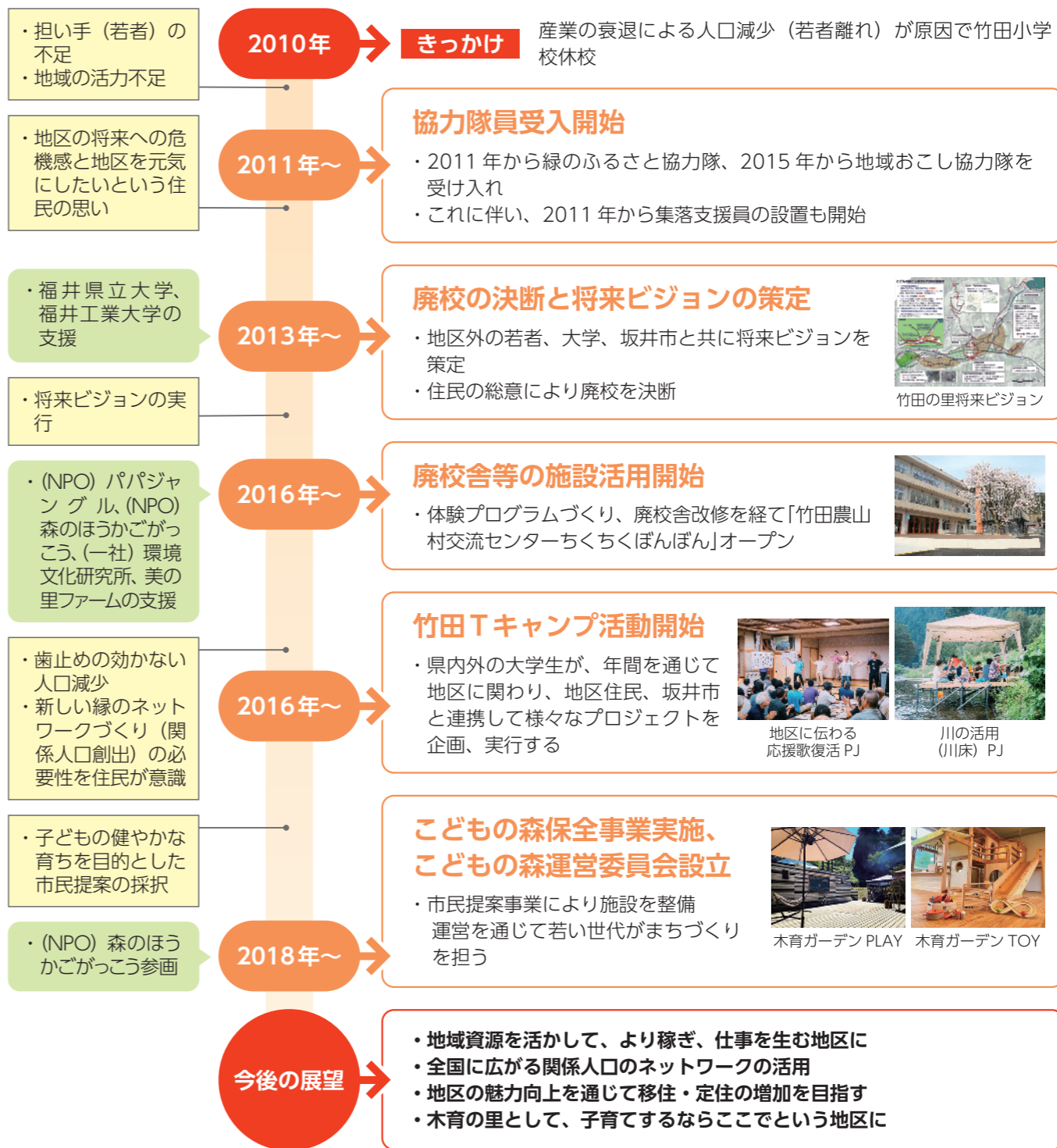


**取組の概要**

元々は坂井市竹田地区で森林の伐採や保全活動を行っていた団体であったが、2010年の小学校休校を契機に、既存の公共施設を利活用したグリーンツーリズムや県内外の若者との地域課題解決活動、林業体験などの森林を活かした教育活動等を企画・実施することにより地域の魅力を向上させるとともに、交流人口を拡大させている。

人口減少・少子高齢化が著しい農山村において、都市部の大学生等のヨソモノと住民が積極的に関わる場を設けることにより、地域に賑わいをもたらしている。

**取組のプロセス**



**DATA**

事例名：『農山村の未来を創る地域協働のまちづくり』  
一般社団法人竹田文化共栄会  
所在地：福井県坂井市丸岡町山口 60-8  
連絡先：TEL 0776-50-2393



竹田地区の風景





ふるさとづくり大賞 一団体表彰

岐阜県を代表する地域文化資源「地歌舞伎」の  
保存と振興～伝統文化の継承と地域活性化～

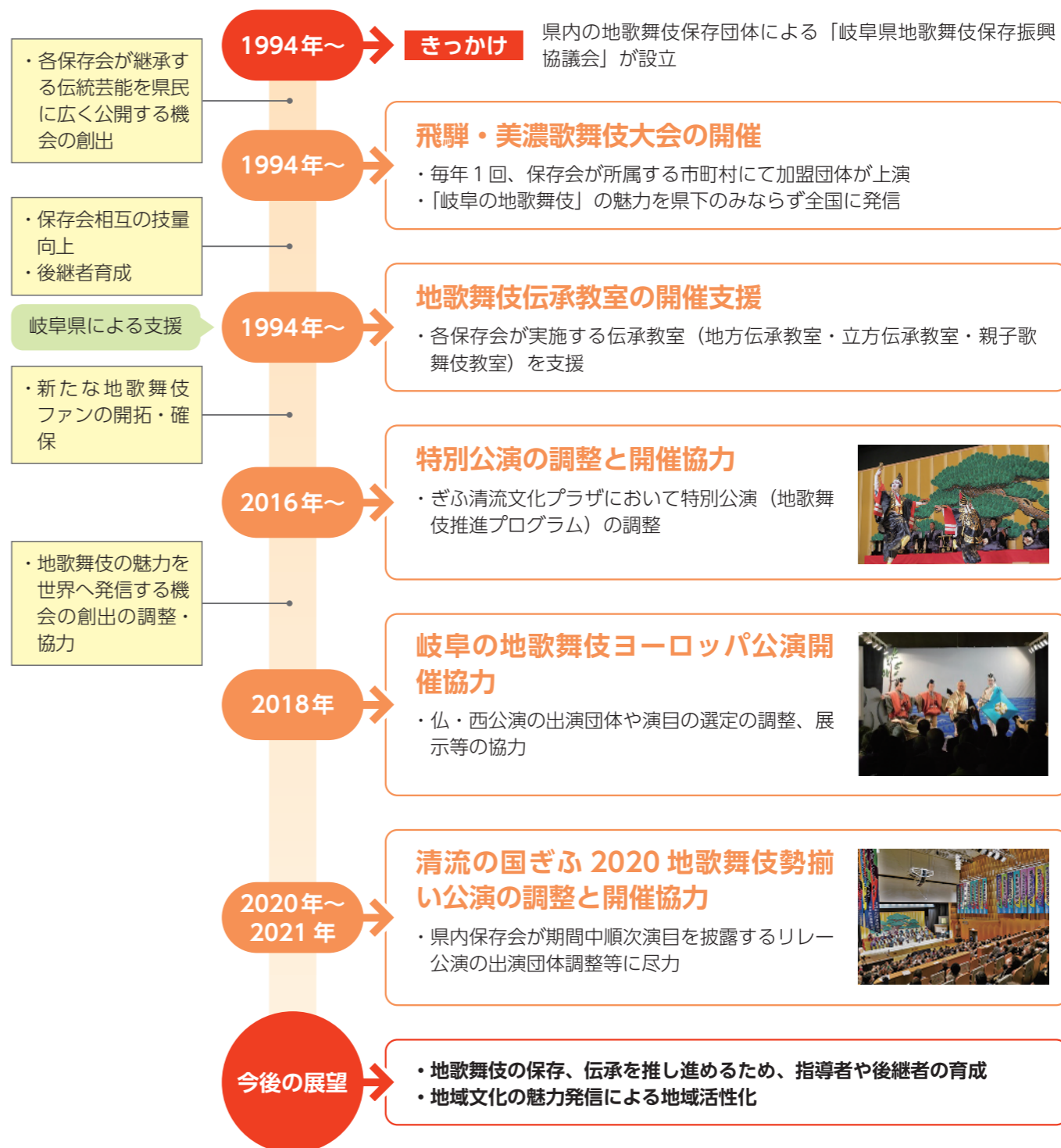
じかぶき  
岐阜県地歌舞伎保存振興協議会



## 取組の概要

全国で活動が続ける200余の保存団体のうち、岐阜県には30を超える保存団体が存在。現存する9棟の芝居小屋をはじめ、毎年各地で各保存団体の定期公演が開催されるなど、岐阜県は日本一地歌舞伎が盛んな地。こうした地域に根づく伝統文化を後世に伝えるとともに、その魅力を発信するため、平成6年に27の地歌舞伎保存団体（以下、「保存会」という。）で構成する岐阜県地歌舞伎保存振興協議会を設立。具体的な活動としては、地歌舞伎伝承教室を通じた次世代を担う人材育成、飛騨・美濃歌舞伎大会などを通じた「岐阜の地歌舞伎」の魅力発信などに取り組む。

## 取組のプロセス



## DATA

事例名：『岐阜県を代表する地域文化資源「地歌舞伎」の保存と振興～伝統文化の継承と地域活性化～』  
岐阜県地歌舞伎保存振興協議会  
所在地：岐阜県瑞浪市明世町山野内 1-47  
連絡先：TEL 0572-68-7710  
FAX 0572-66-1122







ふるさとづくり大賞 一団体表彰

「心イキキはつらつと みんなが愉しむまちづくり」

五個荘地区まちづくり協議会

滋賀県東近江市

ごかしょうちく

## 五個荘地区まちづくり協議会



## 取組の概要

五個荘地区まちづくり協議会の活動エリアである旧五個荘町は、2005年2月11日、周辺自治体の旧1市3町と合併した。行政運営の効率化により「五個荘の伝統文化、コミュニティが失われていくのではないか？」という強い懸念があった。そこで、五個荘地区に暮らす人々が主体的・自立的に活動し、「心イキキはつらつと みんなが愉しむまちづくり」をスローガンとして五個荘地区まちづくり協議会が組織され、活動することとなった。

## 取組のプロセス

・市町合併に対する行政サービスの低下懸念  
・地区のアイデンティティ（個性や伝統文化）消失、コミュニティ衰退への危機感

2004年～

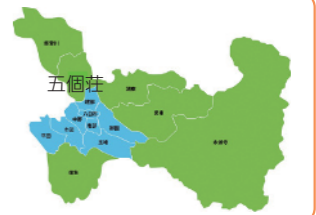
## 五個荘地区まちづくり協議会設立準備会発足

・合併協議会委員（4名）が中心  
・住民説明会／意見交換会／各自治会長へ個別訪問し説明 など

2005年～

## 市町合併（1市4町）

・2006年1月には更に2町が合併し現在の形になった。



2006年～

## 五個荘地区まちづくり協議会 設立

・3月18日 設立総会  
・5月「GO! まち協」第1号発刊



第1号(H18.5) 第91号(R3.6)

・2006年10月から五個荘地区まちづくり10年計画書着手

2008年  
4月～

## 公民館からコミュニティセンターへ段階的に移行

・五個荘地区は2011年4月に移行  
・公民館時代は行政職員1名+臨時職員で運営されていたが、指定管理移行後、行政職員は撤退し、まち協職員（臨時職員継続雇用）のみで運営

・2011年から東近江市が市内全14地区のまち協に対し、コミセンの指定管理委託を順次開始

2013年  
4月～

## 五個荘コミュニティセンター指定管理開始

・指定管理受託について、自治連への説明や検討委員会設置（14回）等（2009～）

2014年  
4月～

## 「協働のまちづくり条例」施行

・まちづくり協議会が、まちづくりに包括的に取り組む団体として、条例で位置けられた。

今後の展望

・地域福祉・安心安全に関する取組みの強化  
・歴史・文化・自然を生かしたプロジェクトの展開  
・小、中学校との連携強化

## DATA

事例名：『心イキキはつらつと みんなが愉しむまちづくり』

五個荘地区まちづくり協議会

所在地：滋賀県東近江市五個荘小幡町 318

連絡先：TEL 0748-48-7303

FAX 0748-48-6454

E-mail go-machikyo@e-omi.ne.jp

ホームページ：http://www.go-machikyo.jp/index.html







ふるさとづくり大賞 一団体表彰

むきばんだ応援団による遺跡の保存と活用

～ふるさとの宝を全国へ～

鳥取県米子市

## 特定非営利活動法人 むきばんだ応援団



### 取組の概要

鳥取県米子市と大山町にまたがる妻木晩田遺跡は、152ha に及ぶ広大な弥生遺跡で、現在は史跡公園として公開されている。1999年2月、開発事業で破壊の危機に瀕していた妻木晩田遺跡の保存を求めて、地元市民、支援する各地の関係者によりむきばんだ応援団を結成。同年4月に遺跡の保存決定後は、遺跡の魅力を発信するため、様々な活動に取り組んでいる。月に一度開催している市民講座「むきばんだやよい塾」は、史跡公園のボランティアガイドの研修講座となっており、2005年に開始した遺跡周辺の植物観察を行う「むきばんだを歩く会」は遺跡の魅力発信に貢献している。2020年からはWEBサイト「全国子ども考古学教室」を立ち上げ、全国各地の小学生がふるさとの遺跡を見直すための貴重な教材となっている。

### 取組のプロセス



### DATA

事例名：『遺跡の保存と活用 ～ふるさとの宝を全国へ～』

特定非営利活動法人 むきばんだ応援団

所在地：鳥取県米子市新開2丁目3-10（本の学校2階市民サロン内）

連絡先：TEL 080-1915-6664

FAX 0859-31-2931

E-mail mukibanda.ouendan@gmail.com







ふるさとづくり大賞 一団体表彰

廃線後の駅を活用し

関係人口を巻き込んだ地域づくり

# 特定非営利活動法人江の川鐵道

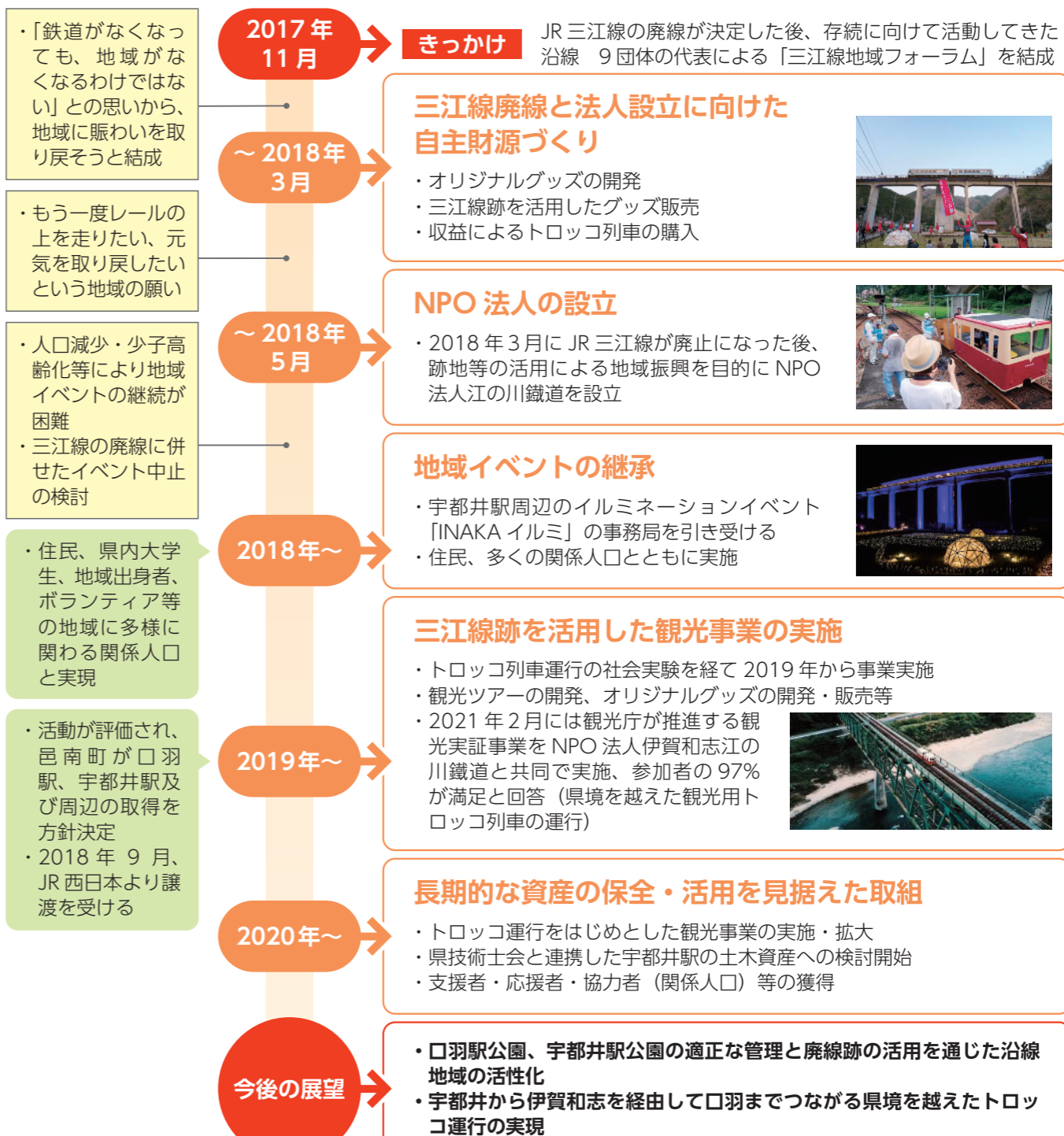
島根県邑南町



## 取組の概要

廃線となった JR 三江線の宇都井駅や口羽駅を活用し、NPO 法人江の川鐵道と地域住民、地域に多様に関わる関係人口の人たちとともに「INAKA イルミ」や「トロッコ列車」などのイベントを開催。その結果、廃線後の路線にも関わらず 2019 年度は、トロッコ型車両の乗車や駅に入場した人は 1200 人に上り、INAKA イルミには 5000 人が訪れた。これらの取組は、総務省の関係人口創出モデル事業にも選定された。

## 取組のプロセス



## DATA

事例名：『廃線後の駅を活用し関係人口を巻き込んだ地域づくり』

特定非営利活動法人江の川鐵道

所在地：島根県邑南町宇都井 1041-1

連絡先：TEL 090-3221-5040

E-mail info@gounokawa.com

ホームページ：https://gounokawa.com/

Facebook：https://www.facebook.com/gounokawa







ふるさとづくり大賞 一団体表彰

ローカルベンチャー  
育成事業

# エーゼロ株式会社

撮影：笹の倉舎 / 笹倉洋平

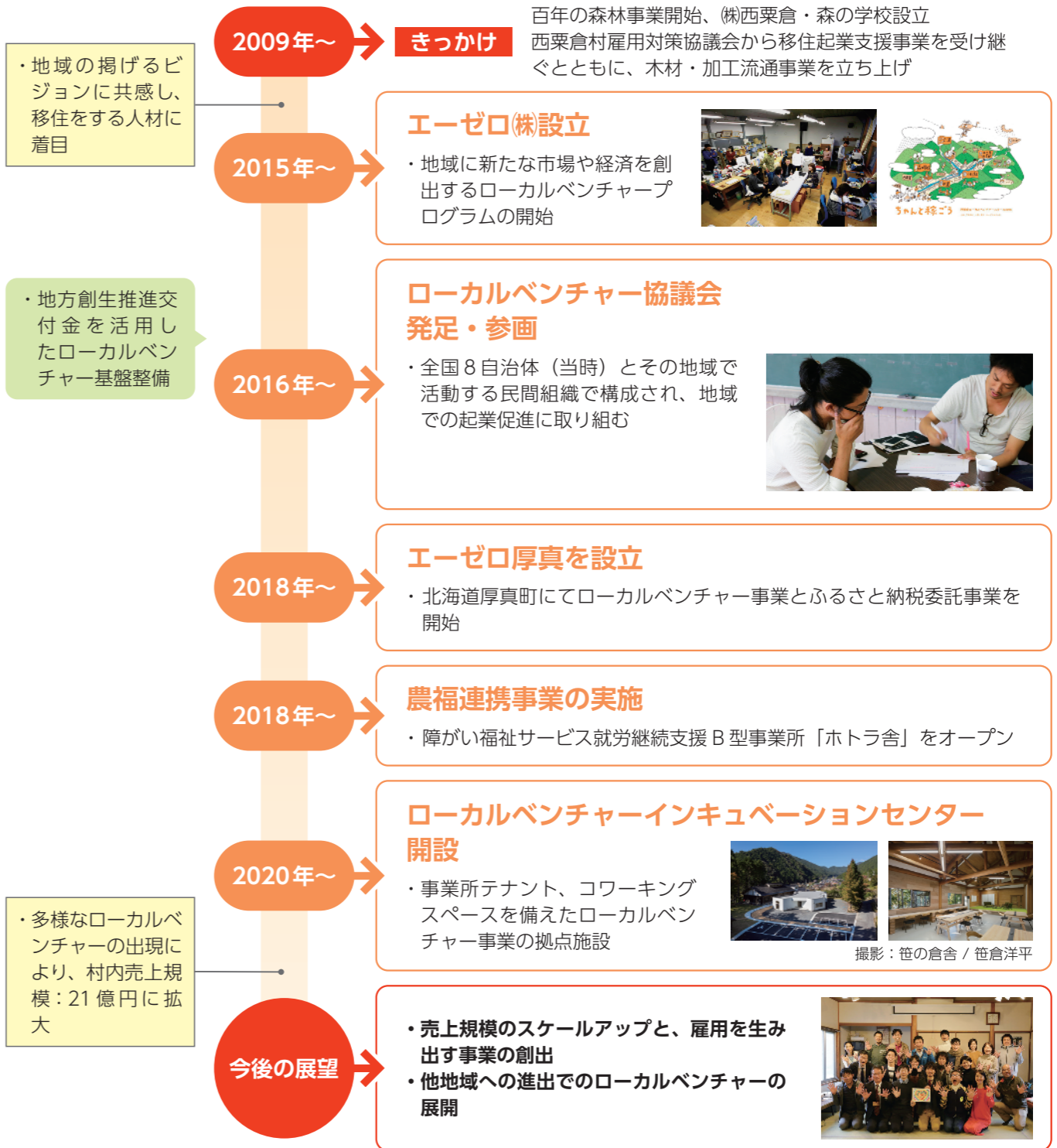
岡山県西粟倉村



## 取組の概要

代表の牧大介氏は、2009年に（株）西粟倉・森の学校を設立。西粟倉村雇用対策協議会から移住起業支援事業を受け継ぐとともに、地域の間伐材を活かした木材・加工流通事業を立ち上げる。そうした中、木材以外にも地域資源の可能性を活かした事業を展開していくために、森の学校から移住起業支援事業を引き継ぎ2015年にエーゼロ（株）を設立。移住起業支援事業では、自治体と連携して地域で自ら仕事をつくるローカルベンチャー育成事業を開始。その他、養鰻、ジビエ肉の解体と加工、養蜂、不動産事業、企業研修やヘルスツーリズムといったツアー事業、福祉、農業などに取り組んでいる。

## 取組のプロセス



・多様なローカルベンチャーの出現により、村内売上規模：21億円に拡大

## DATA

事例名：『ローカルベンチャー育成事業』  
エーゼロ株式会社  
所在地：岡山県英田郡西粟倉村影石 895 番地  
連絡先：TEL 0868-75-3058  
FAX 0868-79-2175  
E-mail customer-service@a-zero.co.jp  
ホームページ：https://www.a-zero.co.jp/







ふるさとづくり大賞 一団体表彰

クシノテラスによる

「アウトサイダー・アート」の発掘

広島県福山市

# クシノテラス



## 取組の概要

アートスペース「クシノテラス」では、障害者や高齢者など独学で制作を続け、未だ世の中から正当な評価を受けていない作り手による「アウトサイダー・アート」と呼ばれる芸術表現を発掘し、広く紹介している。展覧会やトークイベントの他、海外のアートフェアへの出展、表現者の自宅やアトリエを訪れるツアーを全国各地で実施し、これまでに400人以上の表現者を紹介。2019年に東京ドームシティで開催した大規模な展覧会では、好評を博した。

## 取組のプロセス

2000年～

きっかけ

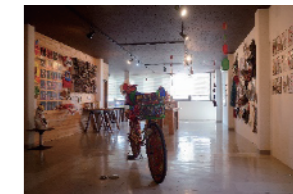
櫛野展正氏が知的障害者福祉施設で生活支援員として働くなか、木工作業をしている施設入所者たちの受動的で楽しみな様子から、より主体的な表現活動の場を提供するために絵画活動のサポートを開始

・福祉施設で暮らす障害のある人たちの芸術活動を通じた経済的自立が急務であると櫛野氏が考えた

・個人の表現や多様性が重要とされながらも、世の中から正当な評価を受けていないアウトサイダー・アーティストに寄り添うことで、互いが自身の世界を尊重し、真の意味で多様性を認めあえる社会の実現を目指す

### クシノテラスを開設

- ・障害者や高齢者、路上生活者など独学で表現活動続ける作り手が自己流に表現した作品群＝「アウトサイダー・アート」を発掘・紹介する
- ・作家の調査
- ・展覧会の開催
- ・トークイベントへの登壇
- ・作品販売
- ・アートスクール
- ・新聞や書籍等での執筆
- ・海外のアートフェアへの出展
- ・アートスペース『クシノテラス』（現在休館中）
- ・SNSやYouTube等でアウトサイダー・アートの紹介
- ・表現者の自宅やアトリエを訪れるツアーの開催
- ・マスメディアにアウトサイダー・アートやその表現者を紹介（『ハートネットTV』『探偵！ナイトスクープ』『アウト×デラックス』など）



ツアー風景

2016年～

2018年～

### アートスクール開講

- ・誰もが参加できるアートスクールを開講

2020年～

### 福山ブランド登録活動に認定

- ①福山の地域資源を活用した地域の活性化や地域の課題解決に向けた取組・活動
- ②地域や団体等の特性を生かしたまちづくりの取組・活動
- ③福山の魅力を高めるための取組や活動として認定

今後の展望

- ・特に高齢者の表現に注目し取材を続けており、多くの高齢者の人たちの表現を紹介していくことで、何か特殊な才能を持った人たちだけでなく、どんな人たちにも自分なりの「表現」があることを伝えている

## DATA

事例名：『「アウトサイダー・アート」の発掘』  
クシノテラス

所在地：広島県福山市花園町 2-5-20

連絡先：TEL 090-2094-2652

E-mail kushiterra@gmail.com

ホームページ：http://kushiterra.com





ふるさとづくり大賞 一団体表彰

地域協同組合無茶々園

～エコロジカルなふるさとづくり～

地域協同組合 無茶々園

むちゃちゃえん

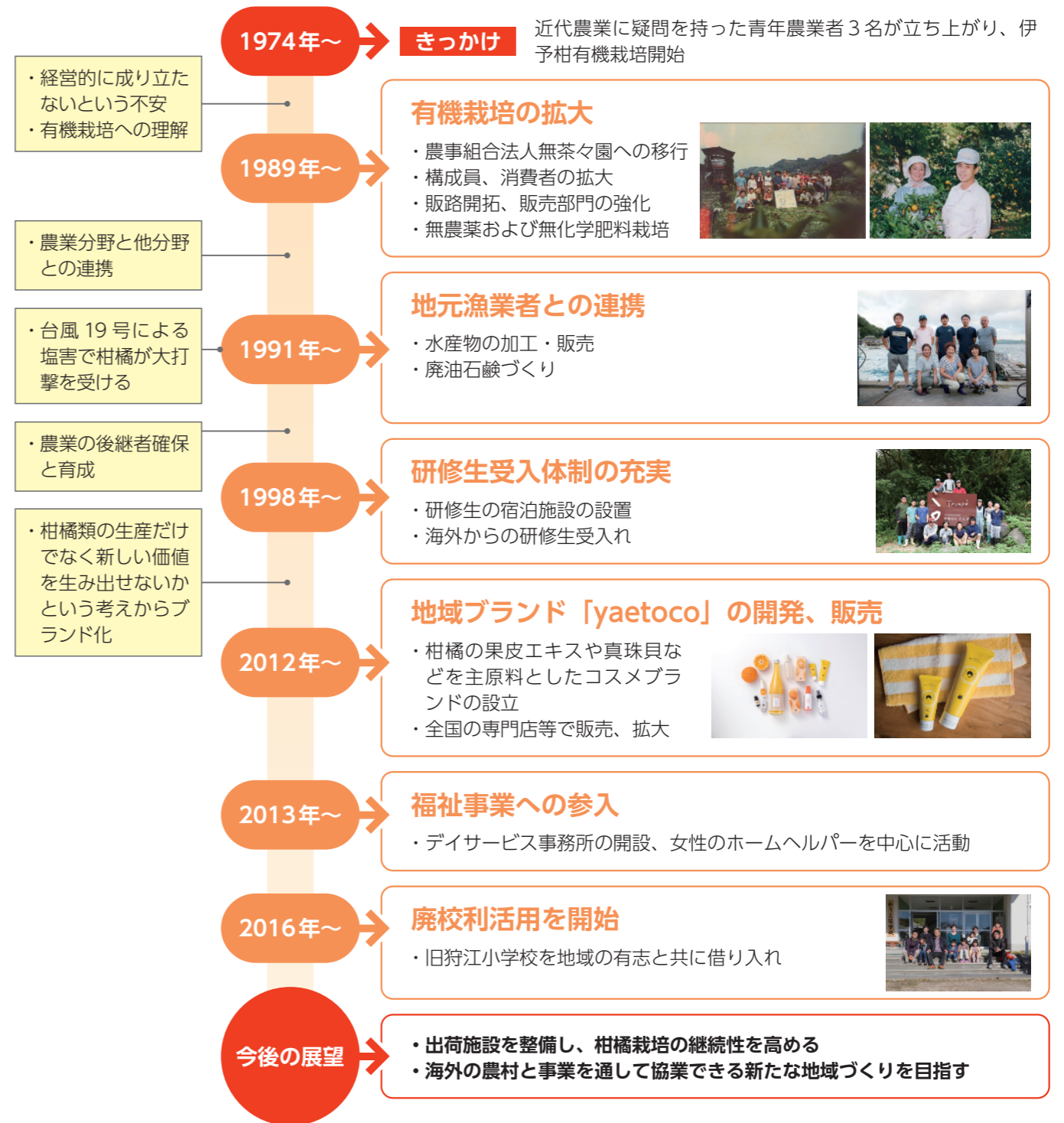
愛媛県西予市



取組の概要

1974年、農薬や化学肥料の使用を前提とした近代的な農業に疑問を持った農業者が、農地を借り受け、有機栽培での伊予柑栽培を始めた。有機農業の開始から40年以上にわたり「エコロジカルなむらづくり」を掲げて、柑橘を中心とした農業生産だけでなく、柑橘を使った地域発のブランド開発、漁業者と連携した環境維持活動、福祉事業への参画、新規就農者の確保・育成の他、段々畑を活用した観光事業や廃校となった小学校の活用などを通じて、ふるさとづくりに積極的に取り組んでいる。

取組のプロセス



DATA

事例名：『エコロジカルなふるさとづくり』  
 地域協同組合 無茶々園  
 所在地：愛媛県西予市明浜町狩浜 2 番耕地 1350 番地  
 連絡先：TEL 0894-65-1417  
 FAX 0894-65-1638  
 ホームページ：http://www.muchachaen.jp





ふるさとづくり大賞 一団体表彰

株式会社 山のくじら舎による  
地域創生プロジェクト

# 株式会社 山のくじら舎

高知県安芸市



## 取組の概要

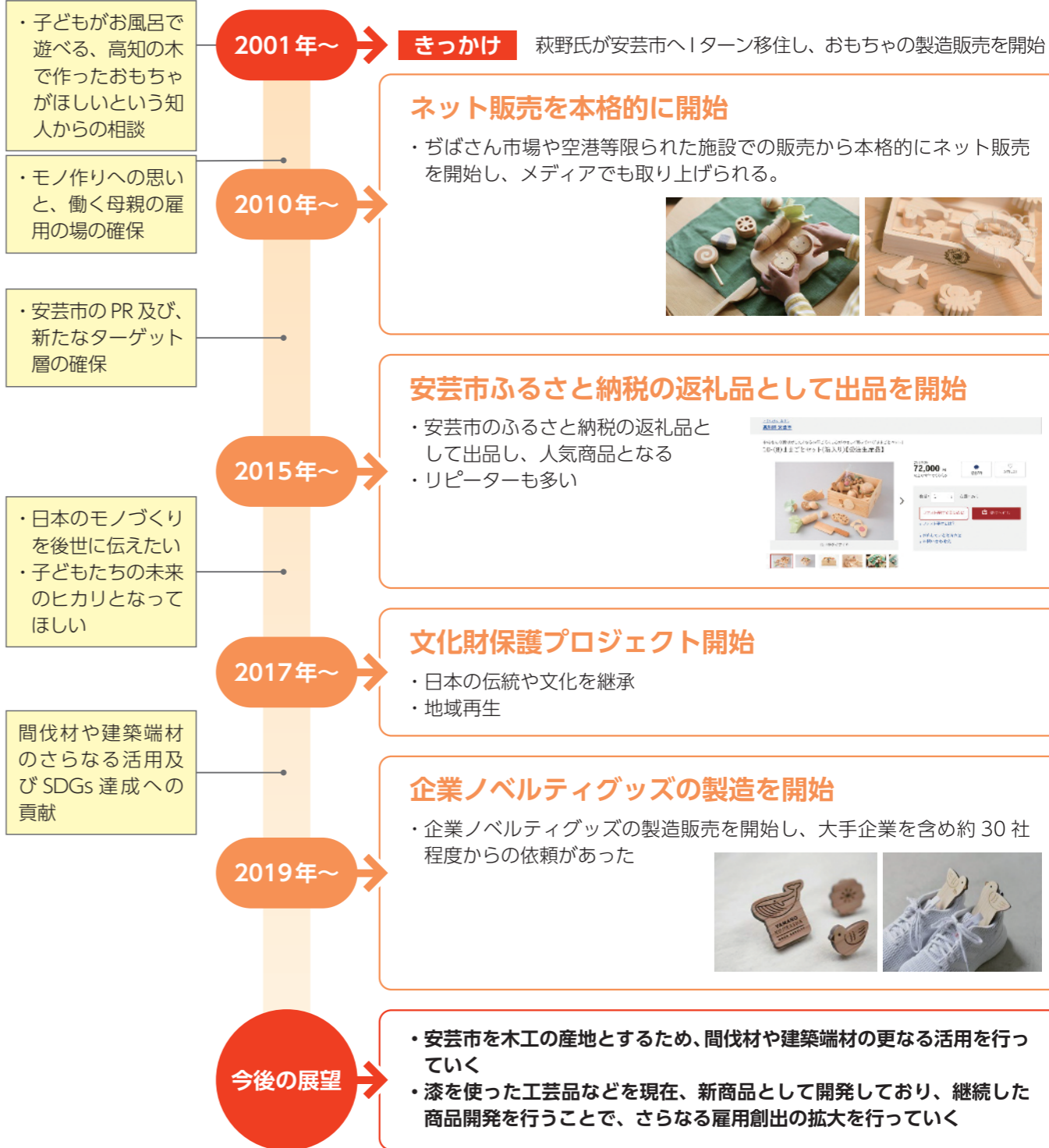
高知県の木材を活用して、おもちゃを製造販売している企業。

皇室にも愛用されているおもちゃであり、インターネットを通じた販路を確立。

安芸市のふるさと納税の返礼品としても人気があり、将来的に安芸市を木工の産地とするため、おもちゃ以外に生活雑貨、ノベルティグッズにも力を入れている。

働き手は、子育ての中の母親がメインで、家庭の事情に合わせて働き方を変えることができる仕組みを整えている。

## 取組のプロセス



## DATA

事例名：『地域創生プロジェクト』

株式会社 山のくじら舎

所在地：高知県安芸市川北甲 1967

連絡先：TEL 0887-34-4500

FAX 0888-13-0167

E-mail info@yamanokujira.jp

ホームページ：https://yamanokujira.jp/







ふるさとづくり大賞 一団体表彰

こゆ地域づくり推進機構による  
地方創生の取り組み

## 一般財団法人こゆ地域づくり推進機構

宮崎県新富町

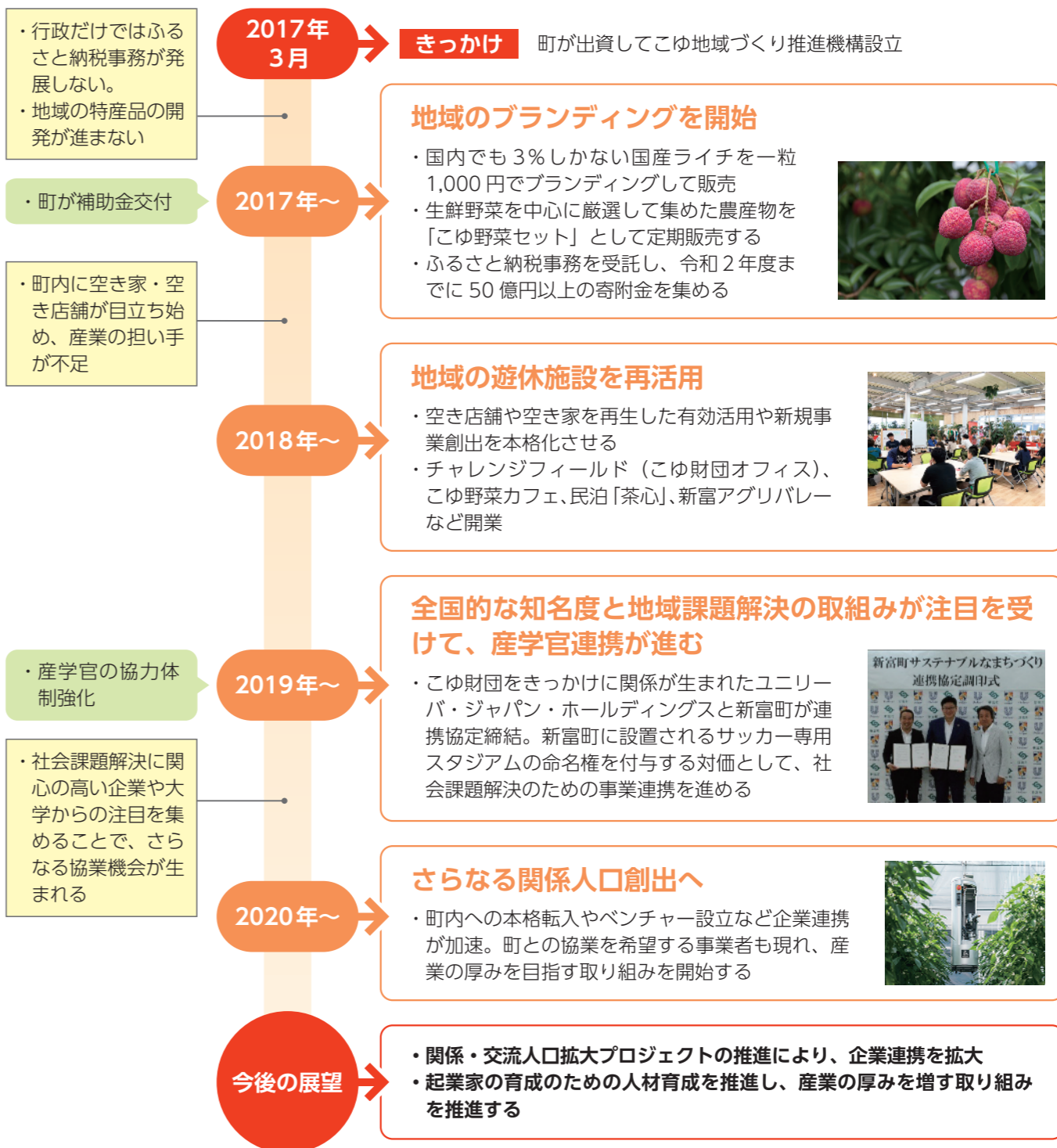


## 取組の概要

一般財団法人こゆ地域づくり推進機構は、平成29年3月に新富町が出資して設立した団体である。町は、観光協会を役場内で運営していたが、様々な社会課題を、行政だけで解決することが難しくなっており、これら課題を克服するために同協会を発展的に解散して、ソーシャルビジネスを手がけることに特化した同法人を設立するに至った。

その目標は、地域に活力を生む手段として地方経済を成長させること、そして生産活動の拡大により雇用を創出することである。さらには、魅力ある仕事や地域を創出することによって、町に帰ってくる若者や町に移り住む人々の増加を図ることとしており、『新富町まち・ひと・しごと総合戦略』に基づいて、町とともに発展することを目指している。

## 取組のプロセス



## DATA

事例名：『地方創生の取り組み』

一般財団法人こゆ地域づくり推進機構（通称：こゆ財団）

所在地：宮崎県児湯郡新富町富田東2丁目1-1

連絡先：TEL 0983-32-1082

FAX 0983-32-1082

E-mail info@koyu.miyazaki.jp

ホームページ：https://koyu.miyazaki.jp





ふるさとづくり大賞 一地方自治体表彰一

上山型温泉クアオルト事業

～“心と体がうるおうまち”づくり～

かみのやまし かみのやまし

山形県 上山市・上山市温泉クアオルト協議会

山形県上山市



取組の概要

上山型温泉クアオルト事業（ドイツ語で健康保養地の意味）は、“心と体がうるおうまち”を基本理念に、先進ドイツにならいつながらも市の独自性をプラスし、森林をはじめとした自然や「美肌の湯・あたたまりの湯」と言われる温泉、四季折々の食などの地域資源を活かし、健康・観光・環境をキーワードに、市民の健康増進と交流人口の拡大による地域活性化を目的に、官民一体となって仕掛ける全国に先駆けたまちづくり施策である。

取組のプロセス



DATA

事例名：『上山型温泉クアオルト事業～“心と体がうるおうまち”づくり～』  
 山形県上山市・上山市温泉クアオルト協議会  
 所在地：山形県上山市河崎一丁目1番10号  
 連絡先：TEL 023-672-1111（内線 222）  
 FAX 023-672-1112  
 E-mail kurort@city.kaminoyama.yamagata.jp  
 ホームページ：https://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/site/kurort/







ふるさとづくり大賞 一地方自治体表彰—

守り、育て、受け継ぐ、  
持続可能な林業のまち・日南町

にちなんちょう

# 鳥取県日南町

鳥取県日南町



## 取組の概要

鳥取県日南町は、人口最小県の鳥取県にあって最も高齢化率の高い自治体である。町の面積の9割を占める森林を持続可能な形として継承していくため、全国的な課題となっている林業従事者の確保・育成を目指して、2019年4月に全国初の町立林業アカデミーを創設した。また、持続可能な森林の循環、脱炭素の取り組みを推進すべく、2013年度より国のJ-クレジット制度に参入し、県内外の民間企業等への販売を行っている。

## 取組のプロセス

・選択と集中による地域資源の掘起し  
・財源確保が課題に

2003年～

**きっかけ** 平成の大合併で、合併を選択せず、単独での自立を選択

### 「30年後の日南町の姿プロジェクト」発足

・ポスト少子化を見据え、過疎、少子高齢化が進行する日本の30年後の姿といわれる日南町  
・先進的なまちづくりを実践するため、産官学で構成された戦略会議を発足し、日本の中山間地域のモデルを目指すことに

・鳥取大学等の学術機関や、山陰合同銀行等の地域金融機関等による産官学金の連携

2006年～

・県内外の民間企業による森林保全への参画（年間約1,000万円を超える財源確保）

2013年～

### J-クレジット制度への参入

・日南町有林において、二酸化炭素の吸収量を認定し、売買を可能とした制度に参入  
・売上は町の自主財源として林業振興や生態系の保全に活用



### 道の駅にちなん日野川の郷オープン

・道の駅から排出される二酸化炭素をJ-クレジットを活用してオフセットする全国初CO<sub>2</sub>排出ゼロの道の駅  
・お客様が買い物をする事で森林保全につながる取組も実施



2016年～

・林業従事者の高齢化

2019年～

### 「にちなん中国山地林業アカデミー」開校

・全国初となる町立の林業アカデミーを開校  
・林業、地域の担い手として多くの卒業生が町内で活躍している



### 内閣府「SDGs未来都市」選定

人口減少や高齢化などの地域課題の解決を図り、基幹産業である第一次産業を元気にするまちづくりを目指す取り組みが評価される

今後の展望

・日本の7割といわれる中山間地域の未来を創る「創造的過疎のまちづくり」を実践  
・産官学が連携する多様性を重んじるまちづくりの実践へ

## DATA

事例名：『守り、育て、受け継ぐ、持続可能な林業のまち・日南町』

鳥取県日南町

所在地：鳥取県日野郡日南町霞 800

連絡先：TEL 0859-82-1111

FAX 0859-82-1478

E-mail info@town.nichinan.lg.jp

ホームページ <https://www.town.nichinan.lg.jp>







ふるさとづくり大賞 一 個人表彰

宮城県大崎市

自然共生型農業・地域の価値の可視化及び世界農業遺産  
「大崎耕土」におけるSDGsの展開

おおわだ じゅんこ  
**大和田 順子**

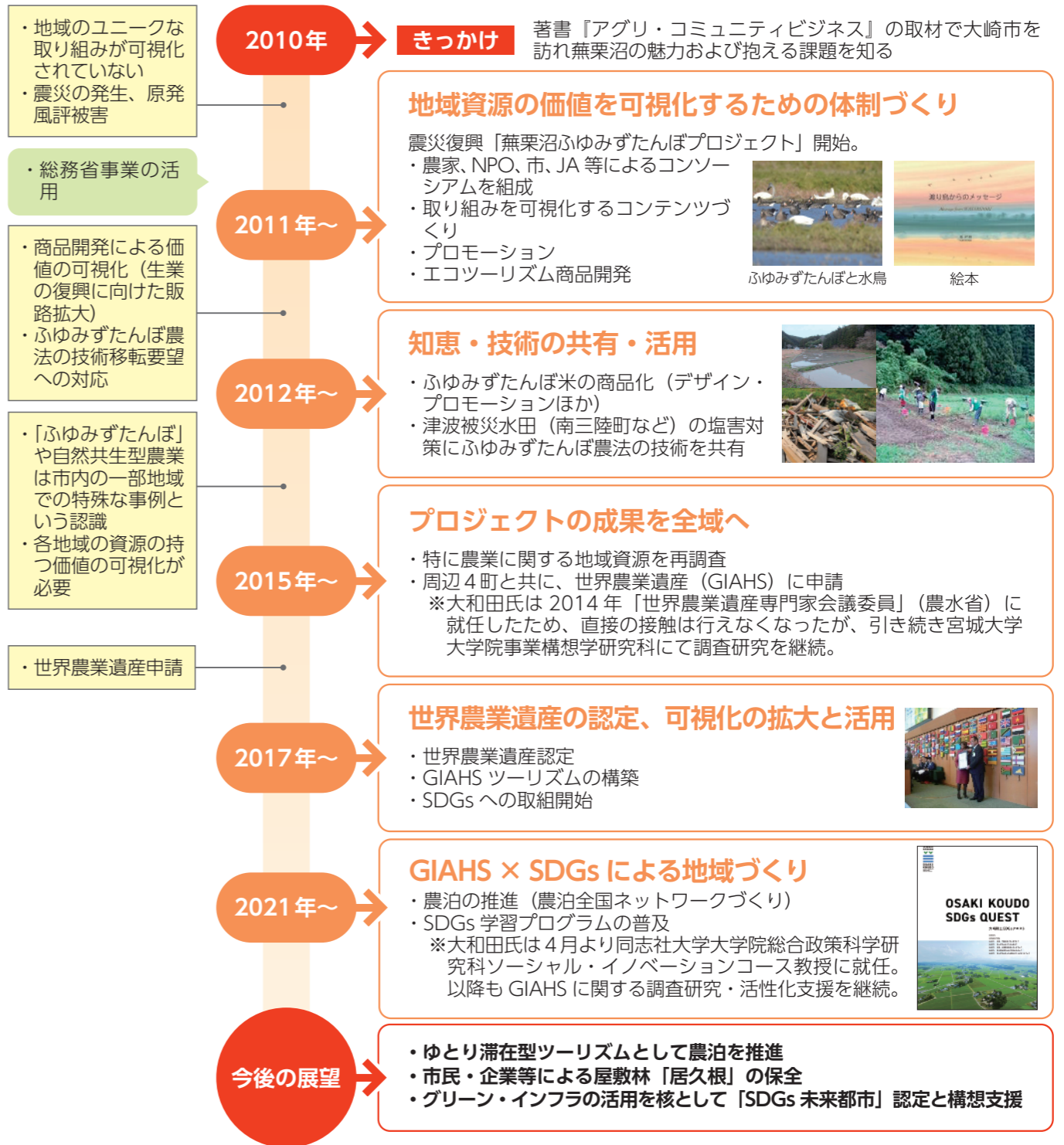


取組の概要

大崎市は、ラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田<sup>1</sup>」において、湿地、農業（ふゆみずたんぼ<sup>2</sup>）、生物多様性など、自然資本の活用を通じた独自の地域づくりに取り組んできた。2011年以降、震災復興に際し、大崎市はこれらの取り組みを地域価値として確立するコンソーシアムを設置し、大和田氏は、そのプロジェクトマネージャーとして参画した。大和田氏は、環境・社会・経済を統合する観点を重視し、各種プロジェクトを主導。2017年の国連食糧農業機関「世界農業遺産（GIAHS<sup>3</sup>）」認定後は、SDGsとの関連を明らかにし、取組を行っている。

<sup>1</sup> 蕪栗沼・周辺水田：2005年ラムサール条約に登録された湿地。湖沼周辺の水田を広く含み、世界で初めて登録湿地名に「水田」を冠した湿地。周辺水田では渡り鳥と農業の共生を目指す「ふゆみずたんぼ」が取り組まれている。  
<sup>2</sup> ふゆみずたんぼ：冬期間も水田に水を溜め続け、マガンを始めとする冬鳥の越冬利用を推進し、その後は農業や化学肥料を使用しない米づくりに移行させることで、渡り鳥と農家の共生を目指すブランド米「ふゆみずたんぼ米」として販売、取組農業者の所得向上につなげる取り組み。  
<sup>3</sup> GIAHS：Globally Important Agricultural Heritage Systemの略。国際連合食糧農業機関（FAO）が、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域を、認定するプログラム。

取組のプロセス



DATA

事例名：『蕪栗沼・ふゆみずたんぼ、世界農業遺産「大崎耕土」』  
大和田 順子  
所在地：宮城県大崎市古川七日町 1-1 大崎市役所内  
連絡先：TEL 0229-23-2281  
FAX 0229-23-7578  
E-mail osaki-giahs@city.osaki.miyagi.jp  
ホームページ：https://osakikoudo.jp/







ふるさとづくり大賞 一 個人表彰

300年先を見据えた  
榧の森づくり

まえかわ えいじ  
**前川 穎司**

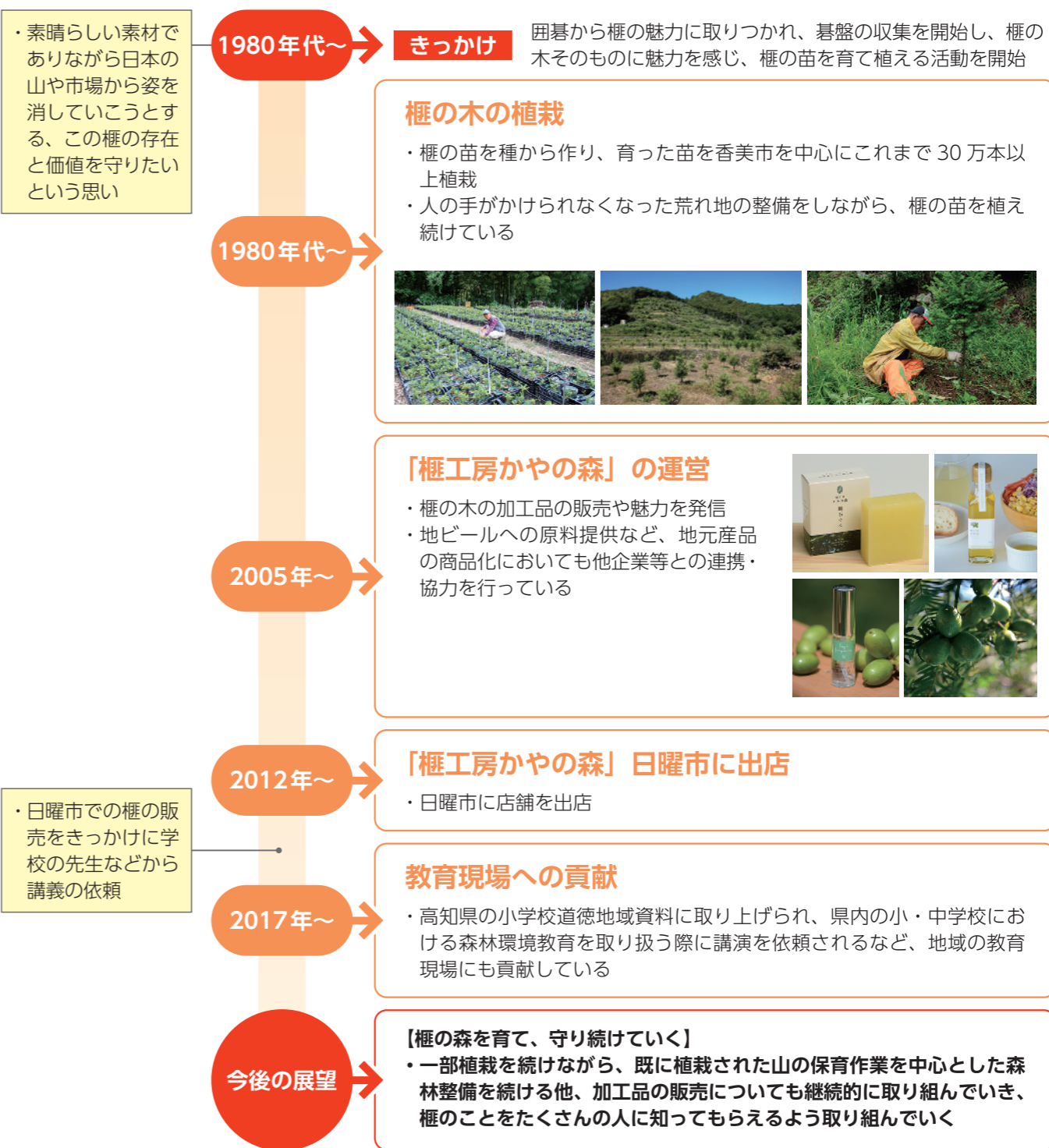
高知県香美市



**取組の概要**

碁盤や将棋盤は榧の木が最高級とされている。木目の美しさや手触り、香り、石を打つ時の響く音など、囲碁から榧の魅力に取りつかれ、40年程前から碁盤の収集を開始。その後、榧は素晴らしい素材でありながら日本の山や市場から姿を消していこうとすることを知り、その存在と価値を守るため、「榧の森づくり」を決意した。成長が遅く、成木になるのに300年かかると言われている榧の木を、種苗業で培った育種の知識を元に種から苗を育て、その苗を高知県内に植え続けた。高知県内に30年で30万本以上の榧を植えて、榧の森づくりに取り組んでいる。

**取組のプロセス**



**DATA**

事例名：『300年先を見据えた榧の森づくり』  
 前川 穎司  
 所在地：高知県高知市相生町6番3号  
 連絡先：TEL 088-880-5188  
 FAX 088-883-5208  
 E-mail info@kayanomori.com  
 ホームページ：https://www.kayanomori.com/









総務省地域力創造グループ地域振興室

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2

TEL : 03-5253-5534 FAX : 03-5253-5537